

W3M

本科 2 期 10 月度

解答

Z会東大進学教室

早慶大世界史



17章 南北アメリカの発展

問題

【1】

解答

- A イ ルイジアナ ロ フロリダ ハ オレゴン
ニ 明白な天命（マニフェスト=ディスティニー） ホ カンザス・ネブラスカ
ヘ シエアクロッパー
- B あ b い b う a
C 1 d 2 c 3 b 4 リベリア
- 5 保護関税政策による国内産業の発展と、公有地で5年間定住した者に160エーカーの土地を無償供与するホームステッド法の制定による西部開拓の促進を行った。（73字）
6 フアレス 7 アレクサンドル2世

解説

アメリカ発展と奴隸制に関する基本問題。A・Bは完答すること。C-5のような内容整理の短論述問題への対策には、日々の世界史学習で出会う用語に対し、その内容や結果、影響について短文で説明を付す訓練を行うとよいだろう。短論述の必要な大学を志望する受験生は、そろそろ対策を始めておくこと。

- A イ 基本問題。ミシシッピ以西のルイジアナはフレンチ=インディアン戦争後の1783年にフランスがスペインに割譲したが、新大陸に野心があったナポレオン=ボナパルトが1800年再びスペインから獲得していた。1803年であるため、「皇帝」ではなく「終身統領」ナポレオン=ボナパルトであるのを確認しておくこと。ナポレオンの皇帝就任は1804年である。
- ロ これも基本問題。フロリダはフレンチ=インディアン戦争の講和条約であるパリ条約（1763）でスペインからイギリスへ割譲され、アメリカ独立戦争後のヴェルサイユ条約（1783）でイギリスからミノルカ島とともに返還された。
- ハ 1840年代とあるから、イギリス領カナダとの国境確定により1846年に併合されたオレゴンしか該当しない。
- ニ 明白な天命（マニフェスト=ディスティニー）。因みにこの「マニフェスト」は最近の選挙で各政党が訴える選挙公約（マニフェスト）と語源は同じ。
- ホ カンザス・ネブラスカ法（1854）では2準州の連邦編入に際しての法律で、奴隸州か自由州かの選択は住民の決定に委ねるものとした。1820年のミズーリ協定を破棄する内容。
- ヘ 黒人問題は憲法修正13条（1865）で奴隸制廃止が明文化され、憲法修正14条で黒人への市民権付与が実現した。しかし南部諸州では黒人取締法が制定され、経済的・社会的な差別も存続した。シェアクロッパー制は黒人を中心とした小作人が地主から土地・住居・農具などを借り、収穫の3分の1から2分の1を地主に納めるという内容。南部では黒人迫害を目的にK・K・K.（キー=クラックス=クラン）がテネシー州で結成され（1865）、現在も団体

は存続している。

B あ イギリス外相カニング（任 1822～27）は、農業国ラテン=アメリカがイギリス産業革命による工業製品の市場となることを期待し、ラテン=アメリカの独立を承認してメッテルニヒの干渉を妨害した。

い ジャクソン大統領（任 1829～37）は米英戦争の英雄で、西部出身者ということもあり農民や労働者の支持を受けた。彼の時代に民主共和党が分裂し、民主党（1820 年代に組織、南部と農民・労働者が基盤）と共和党（1854 に結成、北部と商工業者が基盤、国民共和党・ホイッグ党を経由）がそれぞれ結成された。ジャクソニアン=デモクラシーと呼ばれる小農民・労働者の側に立った政治を開拓し、具体的には白人男子普通選挙の実施・公立学校の普及・土地の安価分与などの民主的改革を推進が進展したが、一方で強制移住法（1830）によりインディアンはミシシッピ以西の不毛の地（保留地）へと追いやられた。

う 基本問題。

C 1 ジェファソンは独立宣言の起草者 5 人の 1 人であり、初代大統領ワシントンの時には国務長官として、独立直後の合衆国の発展に貢献し（連邦派のハミルトンは財務長官に就任した）、1800 年には反連邦派のリパブリカン党（後の民主共和党）を基盤として第 3 代大統領に当選した。選挙での富裕な商工業者（連邦派）への勝利は、民主政への移行を意味する革命的出来事であり、これを民主主義の発展と位置付けることがある。農業重視を主張したが、実際には連邦派の主張（商工業重視）も融合した政策を実施し、対外政策ではミシシッピ以西のルイジアナをフランス（ナポレオン=ボナパルト）から購入し（1803）、領土を倍増させた。

2 マディソン大統領（任 1809～17）期には米英戦争（1812～14）が勃発した。ナポレオンによる 1806 年の大陸封鎖令（ベルリン勅令）に対し、イギリスは自由拿捕令を発令して逆封鎖を行い中立国合衆国をも締め出し、それを受けた米英戦争が開戦した。戦争自体はナポレオンの没落によって終結したが、その際合衆国が独力で戦ったことは国民意識の高揚を促し、イギリス製品の流入が途絶えたことは国内工業の育成と木綿工業の発展をもたらし、経済的自立の契機となった。

3 19 世紀初頭のロマン主義は、フランス革命後の混乱の中で成立し、啓蒙主義の普遍的理性に対抗して個性や感性を重視した。また、古典主義の表現形式を打ち破り、自由な表現方法を追求した。ウィーン体制の重圧下で、各民族の中世世界を理想とした。19 世紀前半には各国に及んだ。

アメリカ文学を作り出した作家 a・b・c の 3 人は混乱しやすいが、a のエマーソンは『自然論』、b のホイットマンは『草の葉』、c のホーソンは『緋文字』などの作品で区別すること。d のワーズワースはイングランド北部“湖水地方”に生まれ、この地の自然を愛し、『抒情詩選（叙事歌謡集）』を著した人物。

4 リベリア共和国は 1847 年にアメリカ解放奴隸により建国されたが、建設は 1820 年代に始まり、大統領モンロー（任 1817～25）の名前より首都はモンロヴィアとなった。アフリカで第一次世界大戦から第二次世界大戦終了までの期間、唯一独立を守った国である。

5 解答例の通り。北部（共和党）の保護関税政策、ホームステッド法を中心に設問に応じてまとめよう。

6 アメリカ=メキシコ戦争（米墨戦争；1846～48）では白人（クリオーリョ）のサンタ=アナ独裁政権が敗れた。この結果、カリフォルニア・ニューメキシコを合衆国に割譲したが、政権は領土縮小、賠償金をインディオへの重税で克服しようとした。これに対して自由主義革命（1855）が起きた。ラテンアメリカでは最初のインディオ出身のアレス大統領（任1858～72）が誕生した。しかしメキシコ内乱（1861～67）が勃発し、これにフランス・イギリス・スペインは共同出兵（1861）を、フランスのナポレオン3世（位1852～70）はハプスブルク家出身のオーストリア皇帝の弟マクシミリアンをメキシコ皇帝に擁立して帝政を樹立した。しかしメキシコ民衆の抵抗やアメリカ合衆国の抗議を受けてフランスは撤退した（1867）。このときフランス軍との抗戦に活躍したディアスは、のちにクーデタによって政権を奪取した。しかしその後ディアスは独裁化し、1911年のメキシコ革命勃発まで独裁は続いた。

7 アレクサンドル2世（位1855～81）はニコライ1世がクリミア戦争中に亡くなると即位し、パリ条約を結んだ。内政では農奴解放令を発布（1861）する一方、対外的には各地で南下政策を推進した。東シベリア総督ムラヴィヨフの活躍でアイゲン条約（1858）、北京条約（1860）を締結し、これにより得た沿海州にはウラジヴォストークを開港（1861）した。中央アジアではウズベク族のボハラ=ハン国（1868）・ヒヴァ=ハン国（1873）・コーカンド=ハン国（1876）を保護国化し、日本とは樺太・千島交換条約を結んだ（1875）。南北戦争でアメリカ合衆国が再統一されると新大陸への南下を諦め、アラスカを売却した。

【2】

解答

問1 d 問2 c 問3 c 問4 a 問5 c 問6 b 問7 d

解説

アメリカ民主制の発展に関する基本的問題。選択肢の中には見慣れないものもあるが、答えは知っている知識の中にあると考えよう。上智は極端に基本問題と難問に分かれるだけに、こういった基本問題は絶対に落とせない。

問1 独立時の13州を問われているのではなく、アメリカの領土の拡大（西漸運動，“マニフェスト=ディスティニー（明白なる運命）”）が問われている。答は1819年にスペインから買収したフロリダであるが、難関私大志望者であれば、念のため13植民地をすべて確認しておくこと（地図も含めて）。

ヴァージニア（1607）

マサチューセッツ（1629）+プリマスを吸収合併（1691）

メリーランド（1632）…カトリック教徒の移住

ロードアイランド（1636）

コネティカット（1636）…コネティカット基本法は近代民主主義最初の成文憲法

カロライナ（1663）→南北に分裂（1729）

ニューヨーク（1664）

ニュージャージー（1664）

ニューハンプシャー (1679) ←マサチューセッツより分離

ペンシルヴァニア (1681)

デラウエア (1682)

ジョージア (1772) …最南端

問2 独立戦争後の経済事情の悪化や社会不安の増大により、軍人シェイズがマサチューセッツの貧農を率いて反乱 (1786～87) を起こしたこと为契机に、連邦派の要求からワシントンを議長にベンシルヴァニア州のフィラデルフィアで開かれた。ベンシルヴァニアは新教の一派であるクエーカー教徒のウイリアム=ベンが開いた植民地。

問3 ワシントン自身は連邦派であったが、連邦派と反連邦派とのバランスを重んじ、反連邦派のジェファソンを国務長官に、連邦派のハミルトンを財務長官に据えることで調和をはかった。初代ワシントン、2代ジョン=アダムスと続いた連邦派政権を破り、ジェファソンは反連邦派のリパブリカン党（のちの民主共和党）を基盤に当選した。

問4 基本問題。新州（男子6万人以上）を奴隸州にするか自由州にするかをめぐっての対立を解決するために、ミズーリ協定（1820）では北緯36度30分以北を自由州、ミズーリは奴隸州（メインは自由州）と定めた。1850年の妥協ではカリフォルニア州を自由州として連邦に編入することと、その代償として奴隸制に関する規定を設けずユタとニューメキシコを準州として連邦へ編入し、奴隸州からの逃亡奴隸を引渡すことを約した。カンザス・ネブラスカ法（1854）では2準州の連邦編入に際して、法律や奴隸州・自由州の選択は住民の決定に委ねるとし、ミズーリ協定を破棄したため南北対立が激化した。

c ホームステッド法は南北戦争中、当初不利であった北部が西部住民の北部支持を獲得するための自作農地法で、1862年制定され、公有地に5年間定住して開墾した者には160エーカーの土地を無償で与えることを盛り込んだ。

d ワシントン協定は盲点となりがちな単語であるが、1871年のアメリカとイギリスとの間に結ばれた条約である。南北戦争中の両国間に生じた種々の問題解決を狙った内容であるが、実際はアメリカとカナダの問題（とくに漁業権と水利権の絡まる問題）の解決が扱われた。

問5 西部の貧農出身のジャクソン大統領（任1829～37）はジャクソニアン=デモクラシーと呼ばれる民主政治を展開し、小農民・労働者の立場に添った政治を実施した。例としては白人男子普通選挙の実施・公立学校の普及・土地の安価分譲といった民主的改革がある。またスポイルズ=システム（獵官制度、党人任用制）と呼ばれる、連邦政府の官職を大統領選挙で勝利した政党の党員が独占する制度を採用した。

問6 明らかにbが間違い。カンザス=ネブラスカ法の成立に対してホイッグ党を中心に奴隸制反対論者が結集し、共和党を結成した（1854）。北部の商工業者・労働者や西部の自営農民を支持基盤とする。

問7 この時期とは南北戦争後であるためdのストウ夫人に関する記述が誤り。小説『アンクル=トムの小屋』で奴隸制度廃止を呼びかけたのは、南北戦争前の1851～52年。

b ジム=クロウは奴隸制廃止後にアメリカ南部で再確立された黒人差別体制（1877）。

c K・K・K.（キー=クラックス=クラン）はテネシー州で結成された白人の反黒人秘密結社で、黒人迫害を目的として1865年に結成された。

【3】

解答

問A 3 問B 2 問C 2 問D 1 問E 3 問F 1 問G 1
問H 4 問I 2

解説

早稲田・慶應レベルでもこの難易度の基本的な問題（逆にいえば絶対に落とせない問題）が50%～55%ほど出題される。問Iで少し悩むかもしれないが、その他は基本問題。可能ならば全問正解したいところである。

問A ハミルトンは独立戦争中、ワシントンの副官として活躍し（副官は複数いたようである。

コシューシコが副官であったことは入試頻出）、戦後は中央政府強化論を主唱しフェデラリストの指導者として活躍した。初代ワシントン大統領の財務長官（任1789～95）を務め、保護関税、消費税新設、合衆国銀行の設立などの政策で連邦財政の基礎を固める一方、工業育成策などを提唱した。マディソンらとともに米国政治思想上の最重要文献とされる『ザ・フェデラリスト』（1787～88）を執筆したことでも有名。

問B ナポレオンが1806年に大陸封鎖令（ベルリン勅令）を発布し、支配下のヨーロッパ諸国にイギリスへ穀物を売らないこと、イギリスの工業製品を買わないことを求め、大陸諸国とイギリスとの通商を規制し、イギリス経済への打撃とフランス産業による大陸市場独占をめざしたが、イギリスは自由拿捕令を発布してフランスやその同盟国、中立国の船を締め出した。このイギリスの自由拿捕令に中立であったアメリカが反発、米英戦争（1812～14）の勃発の原因となった。ナポレオンの没落によってガン条約（1814）で終結したが、イギリス製品の流入が途絶えたことで国内工業が育成され、木綿工業の発展から合衆国の産業革命が一部始まるなど経済的自立の契機となった点、独立戦争と異なりアメリカが独力で戦ったことため国民意識が高揚した点などが重要である。

問C 合衆国の領土の拡大（西漸運動、“マニフェスト=ディスティニー、「明白なる運命」”）は頻出。地図を含めて整理しておこう。

問D 西部の貧農出身のジャクソン大統領（任1829～37）は、インディアン強制移住法（1830）を制定した。ミシシッピ以西に置かれた「保留地」という単語も押さえておくこと。ジャクソンはその他に“ジャクソニアン=デモクラシー”と呼ばれる民主政治を展開し、小農民・労働者の側に立った政治を行った。例として、白人男子普通選挙の実施・公立学校の普及・土地の安価分譲といった民主的改革を推進した。

問E 合衆国南部は、独立戦争頃はタバコ・藍・米などを栽培していた。イギリスで18世紀後半に木綿工業から産業革命が起こると、イギリスは当初インド産の綿花が原料であったが、インド産の綿花をイギリスへ運ぶ輸送費用がかかることからアメリカ南部で綿花を生産するようになり、18世紀末のアメリカ南部は一大綿花畠となった。このことがアメリカ人ホイットニーの綿繰り機の発明（1793）、フルトンの蒸気船の発明（1807）に影響した。このように、独立戦争頃の合衆国南部では、綿花栽培が中心産業ではなかったことを理解しておこう。

問F・問G 西部は自作農を中心とする自営農業のため、南部の奴隸を用いた農業へ反発していた。このことから、南北戦争中に北部が西部農民を味方にしようと1862年に公有地に5

年間定住し開墾した者に160エーカーの土地を無償で与えるホームステッド（自作農地）法を制定した。当時西部は陸の孤島で北部（東部）とも南部とも結びつきが弱かったが、ホームステッド法での移住が増え、1869年の大陸横断鉄道の開通によって北部（東部）や南部との関係が密接になり、とくに北部（東部）の工業の市場となる。

問H 合衆国のエディソンは1878年に白熱電球を発明し、世界最大の電機メーカーG Eの前身を設立した。1876年に蓄音機、93年に映画など数多くの実用品を発明した。1のガソリン自動車はドイツのダイムラーが1883年にガソリン機関を発明し、85年に二輪ガソリン自動車を、86年に四輪ガソリン自動車を製作し、90年にダイムラー自動車会社を設立した。2の無線電信はイタリアのマルコーニが1895年に発明した。3のダイナマイトはスウェーデンのノーベルがニトログリセリンを利用して1867年に製造。1875年には無煙火薬を発明し、巨万の富を獲得し、遺言で1901年にノーベル賞が創設された。第1回ノーベル物理学賞はX放射線を発見したドイツのレントゲンが受賞した。

問I 憲法修正13条（1865）で奴隸制廃止、憲法修正14条で黒人への市民権付与が明文化されたが、南部諸州では黒人取締法が制定され、実質的に経済的・社会的な差別が行われた。

【4】

解答

- (1) 5 (2) 1 (3) 3 (4) 6 (5) 4 (6) 3 (7) 3 (8) 3
(9) 1 (10) 1

解説

合衆国の領土拡大に関する問題である。地図の確認は決して疎かにしないこと。

- (1)・(6) 1783年、合衆国・イギリス間の独立戦争についての講和条約であるパリ条約において、合衆国はイギリスからミシシッピ川以東のルイジアナを獲得した。1830年に制定されたインディアン強制移住法では、インディアンはミシシッピ川以西のルイジアナへ追放された。
- (2)・(7) 合衆国はアメリカ=メキシコ戦争（1846～48）に勝利し、カリフォルニア、ニューメキシコなどを獲得した。1848年カリフォルニアで金鉱が発見されたことから、ゴールドラッシュが始まった。
- (3)・(8) アメリカ系移民がメキシコからの独立を宣言して1836年にテキサス共和国が樹立されたが、1845年に州として合衆国に加入した。
- (4)・(9) 1854年に北部で結成された共和党は、奴隸制反対と保護関税政策の推進を主張した。共和党出身のリンカンが大統領に当選すると、南部11州は合衆国から脱退して、ヴァージニア州のリッチモンドを首都としてアメリカ連合国を設立した。
- (5)・(10) 合衆国は1803年にナポレオンからミシシッピ川以西のルイジアナを買収した。モンロー教書は1823年に発した声明で、ヨーロッパ諸国とアメリカ大陸諸国との相互不干渉を主張した。

【5】

解答

- 1 (タ) 2 (ハ) 3 (ク) 4 (セ) 5 (コ) 6 (ケ) 7 (オ) 8 (ネ)
9 (イ) 10 (ナ)

解説

アメリカ合衆国の発展についての問題である。基本的な問題なので、誤りは最小限に留めてほしい。

- 1 1854年に合衆国は日本と日米和親条約を結び、下田・箱館2港の開港や最惠国待遇などを認めさせた。
- 2・3 ナポレオンは1799年のブリュメール18日のクーデタによって総裁政府を打倒し、統領政府を樹立した。名目上は共和政であったが、実質は第一統領に就任したナポレオンによる独裁政権であった。
- 4～6 合衆国は1836年にメキシコからの独立を宣言したテキサスを1845年に州として併合した。オレゴンはアメリカ=イギリス戦争後に合衆国とイギリスの共同統治下に置かれていたが、1846年に北緯49度を国境としてアメリカに併合した。さらに、1846～48年のアメリカ=メキシコ戦争に勝利したことで、ニューメキシコ・カリフォルニアが合衆国の領土となった。
- 7 1820年のミズーリ協定では、北緯36度30分以北には奴隸州を認めないことが定められた。
- 8 共和党は北部資本家・西部農民を支持基盤として結成され、奴隸制反対と保護関税政策を主張した。リンカンは共和党から出馬して1860年の大統領選挙に当選し、第16代大統領となった。
- 9・10 南北戦争は、当初は南部が優勢であったが、奴隸解放宣言とホームステッド法を発布した北部がしだいに優位となり、1865年に南部11州が建国したアメリカ連合国(南北戦争)の首都リッチモンドが陥落して終結した。